

# ドレミファ・フロイデ

2025年1月21日  
第270号

一般社団法人 東京フロイデ合唱団 *Freude*  
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 1-42-7 第2東ビル 101  
電話 03-5940-0731 / ファクス 03-6304-1688  
メール [freude@td0.sq-net.ne.jp](mailto:freude@td0.sq-net.ne.jp)  
ホームページ <https://www.tokyofreude.org>



## 第25回記念演奏会に向けて練習が始まりました

東京フロイデ合唱団は、2025年1月14日（火）、としま区民センターで開講式を開催しました。2025年は第25回の記念演奏会になることから、前奏曲も合唱で、ヴェルディの歌劇「アイダ」から「凱進行進曲」を歌うことになっています。



開講式にあたってまずは、矢野団長から「団員数は予定より少ない185名ほどでのスタートですが、演奏会まで一年間の長丁場の練習となる。とくに今年はイタリア語で『凱進行進曲』に挑戦するので体気をつけて頑張りたい」との決意のこもった挨拶がありました。

続いて、日ごろお世話になっている日本フィルハーモニー交響楽団の賀澤美和様から「東京フロイデ合唱団の第1回の演奏会は私が日本フィル側の担当をしていて、それからずっと日本フィルと演奏会を開催して頂いている」との発足当時の紹介があり、みな感動しました。

長らく合唱指導をして頂いている富澤先生からは「当合唱団は国際高齢者年に高齢協合唱団として発足したが、東京フロイデ合唱団になってからは若い団員も増えた。初めての方も経験豊富な方も、毎年同じスタートを切り、時間をかけて素晴らしい合唱を作り上げていく、そして前年を超えていくのがモットーです。」と挨拶されました。

同じく第3回から富澤先生と合唱団を支えていただいているピアノの真形先生からと、古くから当合唱団と関係しているボイストレーナーの辻端先生から、それぞれ激励のお言葉を頂きました。

次に、新入団員が登壇して、一人ずつ自己紹介をしました。全く合唱が初めての人も「第九」をかなり歌いこんでいる人もいましたが、一日も早く合唱団にとけこんでいただきたいものです。

次に、運営委員が壇上に並び、矢野団長から、新たに加わった2名を含め紹介がありました。委員の高齢化も進んでいることもあり、さらなる委員も募集したいと付け加えました。

続いて、団員全体でプロジェクターを見ながら団歌「今ここに」を声高らかに合唱しました。

最後に夏目副団長から本日の配布資料の説明がありました。練習会場が多岐にわたる、携帯電話の音が出ないようになど、練習にあたっての注意事項について説明がありました。とくに、演奏会の出演条件として「原則的に各月の出席率が50%以上であること」が掲げられていることを強調しました。

開講式終了後10分間の休憩後、早速練習が始まりました。発声法が主体でしたが、「第九」のさわみや今後の練習の進め方について、富澤先生から丁寧な説明がありました。

## <小松マエストロからのメッセージ>

昨年の真夏の饗宴は、東京フロイデ合唱団と最高のソリスト陣、盟友日本フィル、そして素晴らしい聴衆の皆様が一体化した思い出に永く残る経験でした。

あの演奏の達成感をかみしめて12月に向けて更なる高みを目指し精進してまいります。また、第25回で取り上げられる『アイダ』は、奇しくも25年前にリヴィウ国立歌劇場（ウクライナ）で指揮した思い出のオペラでご縁を感じます。祝祭にふさわしい演目を、皆様と共に25周年をお祝いできるのが大きな喜びです。昨年の東京フロイデ合唱団の、不退転の決意に満ちた堂々たるお姿と歌声が今も鮮明に蘇ります。指揮台で鳥肌が何度も立ちました。

私も皆様とともに次なる高みを目指し精進してまいります。楽しみに致しております。

小松長生

現在（1/20）の申込み状況は、目標200名に対して191名です。内訳は、ソプラノ67名、アルト65名、テノール31名、バス28名です。お知り合いで「第九」に興味のある方を是非お誘いください。

## としま区民センターの予約について

1月14日練習初日に、「2025年 第25回記念演奏会 練習日程表」を配布しました。

当団は練習会場として「としま区民センター」をメインにしていますが、数年前から他の会場も使用しており、団員の皆さんの中から不便を感じる声を頂いています。この機会に会場予約に苦勞している実態をご説明します。

当団は豊島区で法人化したので豊島区施設の予約抽選会に参加し区民料金（区外の半額）で利用できる資格を持っていますが、「としま区民センター」は豊島区の施設のため豊島区の催しが優先的に設定され、一般団体には残った日程が貸し出されます。また、火曜日夜間の抽選参加団体が増え始めている傾向があり抽選で外れるケースも増えています。

このような状況の中で代替の会場を探しますが、①200人規模を収容でき②1年前から予約可能な会場は限られていることを、まずはご理解頂きたいと思います。

従来使用していた「江東区文化センター」は1年前の予約ができなくなり対象から外れました。また、「タワーホール船堀」は1年前から予約できますが、今迄の出席率が低いことから使用を見合わせて行く考えです。

今年の練習会場は下表のとおりです。

会場	予約	使用料金
南大塚ホール	1年前	約3倍
杉並公会堂小ホール	11ヶ月前	約1.5倍
板橋区立グリーンホール	6か月前	約1.2~1.7倍
板橋区立文化会館小ホール	7か月前	約2.5倍

使用料金は「としま区民センター」との比較です

- 「南大塚ホール」は改修工事が終わっていたものの、新型コロナ流行時以降客席での合唱練習が許可されない状況が続いていましたが、やっと解除されて予約対象になりました。使用料金が「としま区民センター」の約3倍なのが難点です。
- 「杉並公会堂小ホール」は改修工事が終わり利用できるようになりました。過去、オケ合わせで利用して来た馴染みのある会場ということもあり予約対象にしました。
- 「板橋区立グリーンホール」は、予約は6か月前という制約があります。
- 「板橋区立文化会館」は、予約は7か月前という制約があります。

このように、代替会場は一長一短があり会場選びに苦勞していますが、団員の皆さまのご意見も頂きたいとお願いたします。

## <2025 業務を開始した運営委員>

団長 矢野 留美子 (A)  
副団長 馬場 正善 (T) 夏目 帝子 (A)  
事務局長 小笹 維義 (B) 次長 小原 磯則 (T)  
運営委員 加藤 幸平 (T) 木村 修 (B) 柴崎 洋介 (T) 下村 博史 (B)  
竹井 ひとみ (S) 長野 江理子 (A) 羽山 徹 (B) 堀内 知行 (B)  
監事 岡田 光好 (B) 事務局 六郷 美佐子

新入団員へのガイダンスは2月4日(火)練習終了後の20:30~



## 楽しい発表会で2024年を締めくくりました

秋期練習の最終日12月10日としま区民センター8階の多目的ホールで練習成果の発表会を行いました。この日は一般の方にもオープンで、団員以外の来場者には9階の客席を開放しました。全体の流れは以下の通りです。

**【第1部】** 18時30分から最終練習。富澤先生による三曲（「赤とんぼ」「今ここに」「オラトリオ《天地創造》」）通し稽古で、先生からは少し注意事項があり、第3部の合唱に備えました。

**【第2部】** 19時30分から司会進行は夏目副団長が行いました。

先ず矢野団長から、秋期練習を振り返り、約80名の参加者は、出席率もよくて一生懸命練習し今日を迎えることができたとの挨拶がありました。

続いて、今回お世話になった先生方の趣向を凝らしたお楽しみがありました。

**真形先生：**《天地創造》にちなんで、ハイドンのピアノソナタ（第50番ハ長調 Hob. XVI: 50）を演奏されました。後で合唱の仕上げをする《天地創造》を思い浮かべながら、じっくりと聴きました。

**辻端先生：**声楽を目指す学生は、初期の頃はイタリア歌曲で発声を学ぶそうですが、その解説をひとくさり話された後、一変して日本の歌曲「荒城の月」を朗々と歌い上げ、うっとり聴きました。

**富澤先生：**グループを変えて、相手を変えて、「雪やこんこ」と「春が来た」の輪唱。先生がよく言われる「楽しみながら合唱をやりたい」を実体験しました。相手を顔で見るのではなく、外国人と同じように、「胸から上が顔であると思おう」は、今回、舞台上で再現してよくわかりました。

**【第3部】** 秋期練習の締めくくりです。富澤先生指揮、真形先生ピアノ伴奏で、団員が全員で、「赤とんぼ」「今ここに」「天地創造」を合唱しました。



最後の締めは夏目副団長が行いました。練習に一度も休まず参加した団員、団歌「今ここに」を作詞した岡村さん・作曲してくれた富澤先生、楽譜作成に携わった常岡さんの紹介もあり、とても印象的でした。

## サントリーホールで「第九」を歌いました

昨年12月27日、他団体からの応援も含めて当初165名の参加登録でしたが体調不良や仕事の都合などがあり、総勢153名で歌いました。昨年に引き続いてのオファーでしたが、当団もそれなりの評価をいただける合唱団に育ったということですね。

一流のオペラ歌手の皆さんのアリアを聴けた上に、ほぼ満席の日本一のコンサートホールで「第九」を歌うことができ、終演後には参加者の皆さんから喜びの声をたくさん頂きました。今年は東京フロイデ合唱団の演奏会が真夏でしたが、年の瀬に「第九」の歌い納めが出来て良かったです。

また、主催者からは一般指定席をとびきりの割引額で幹旋があり77人のお友達にも聴いていただきました。



## 緊急時連絡先(本人)アンケート

台風などの自然災害や、やむを得ず練習が中止になる場合など、運営委員から皆さんに緊急連絡を行います。その際、確実に連絡が取れるように、手段をお聞きするアンケートを行います。このアンケートは秋期練習時もありましたので、その参加者は除きます。本日(1/21)配布して、締め切りは2月4日です。なお、緊急連絡の際、発信側から着信確認までは致しませんので念のため。

### 第24回演奏会の写真の展示・販売を1/21と2/4の練習日に行います

♪ 演奏会のご案内 ♪ (団員が出演する演奏会情報をお寄せ下さい)

#### ♪ 第38回国技館5000人の第九コンサート

日時：2月23日(日) 開演14:00(開場13:00) 場所：国技館

チケット：残席はHPから購入できます。(2月21日まで)

清瀬第九合唱団20名を含め、東京フロイデ合唱団として合計52名で参加

(B) 堀内知行

#### ♪ メサイア全曲

日時：2025年2月1日(水) 開演15:00(開場14:30)

場所：杉並公会堂大ホール チケット：S4000円 A3000円(全席指定)

(A) 加藤祐子

#### ♪ SATOKOさんメモリアル ～こころを結ぶコンサート～

日時：2025年3月16日(日) 開演14:00(開場13:30)

場所：銀座 王子ホール チケット：前売3500円 当日4000円(全席指定)

(S) 池田 (A) 飯田